

教育広報

いるま

第49号
平成21年3月

題字：教育長 村野 志 朗
編集：教育広報いるま編集委員会
発行：入間市教育委員会学校教育課
電話 04-2964-1111(内4145)



思い出に残った稲かり

宮寺小学校五年

堀越 亜希斗

ぼくが、田んぼ仕事で一番印象的だったことは、稲かりです。稲をかりに行く日、ぼくは、稲がちゃんと育っているか心配でした。でも、黄金色に育った稲がいっぱいできていて、とても安心しました。

作業開始。いっぱいできている稲を見て、はりきって稲をかりました。使う道具は、のこぎりがまです。みどりの森の博物館の方に教えていただきました。みんなの力を合わせて、稲は大量に収かくされました。

その稲を天日干しにし、みどりの森の博物館で精米して、家庭科の授業でたいておいしいご飯になりました。食べたとき、ほっぺが落ちるほどおいしかったです。

みんなががんばって作ったお米だから、こんなにおいしいんだな、と思いました。

また今度、お米を作る機会があったら作ってみたいです。

健康で体力のある児童の育成をめざして

扇小学校 校長 安中 高明

平成十九・二十年度に埼玉県教育委員会から『体力向上推進校』の研究委嘱を受け、右のような主題のもと研究を深めてきました。

児童の体力や運動技能を高めることはもちろんのこと、「友達と豊かに関わり合う」ことも視野に入れた体育授業や体育的活動を展開しました。また、健康安全教育にも重点をおき「保健」や「食育」の授業も実践しました。

十一月の研究発表会で、五年生の保健「心の健康」の授業を、担任と養護教諭の二人で行いました。



自分の悩みに気付き、自分に対処方法について考え、心の健康に対する正しい知識や実践態度を学ばせました。

児童の話し合いの中で、友達にも似たような悩みがあり、悩んでいるのは自分だけではないということが



わかったようです。そして互いの悩みを共有でき、解消するための手立てを考えることができました。

また、四年生の食育「元氣いっぱい朝ごはん」の授業を、担任と学校栄養職員の二人で行いました。

朝食を摂ることで、体や頭が目覚め、体からの便り（便通）があることを学ばせました。

話し合いの中で、友達と自分との考えの違いを知り、加えて、食習慣の改善をめざそうと努力する姿が多く見られました。

専門性の高い養護教諭や学校栄養職員との授業は、とても説得力があり、子どもたちに好評です。話し合いを通して、友達のよさを感じながら、豊かな人間関係が形成されることを願っています。

発表会は終わりましたが、今後とも「健康で体力のある児童」の育成に取り組んでまいります。

確かな学力の向上をめざして

―「読む力」と「学ぶ力」を高める―

高倉小学校 校長 山下 忠夫

研究の概要

本校では、平成十九・二十年度、入間市教育委員会並びに入間市教育研究会の委嘱を受け、「確かな学力の向上をめざして」を研究主題とした国語科の研究を進めてきました。

平成十六年度から、児童に確かな学力をつけることをねらいとして、学習の基礎・基本となる漢字を正しく読み書く力、正しく計算する力身につけるためのステップアップ学習に取り組み始めました。平成十七・十八年度には、学習の基本となる読む力を向上させることをメインテーマとして取り上げ、読み取る力身につけさせる国語の授業の在り方についての研究を継続してきました。



本研究は、その三年間の取り組みを土台として学習の基本となる「読む力」と学習を支える意欲や根気強さなどの「学ぶ力」を、更に向上させることをめざしたものです。

児童の学習の様子や学習に対する意識の変化に、研究を推進してきた手応えを感じているところです。しかしながら、まだまだ課題は多く、さらなる研究の推進と内容の深化を図っていくことの必要性を痛感しています。

読む力と学ぶ力を高めるために児童に、確かな「読む力」をつけるためにはどうすればよいのか。

本校では、課題解決的な国語の授業を行う中で、文章を読み取るための様々な方法を段階的に学ばせていくことだと考えました。「読みを深める研究部」を中心として、全教師による授業実践研究を重ねてきました。また、児童の「学ぶ力」を向上させるためには、児童の学びを支える様々な学習環境を整え充実させることが重要であると考えました。

「学ぶ力研究部」がリードして、ステップアップ学習や親子でチャレンジシリーズ（家庭での生活習慣・学習習慣作りのための取り組み）など、家庭の協力も得ながらの取り組みを進めてきました。



「学ぶこと」「働くこと」を大切にしている生徒の育成

— 進路指導・キャリア教育 —

西武中学校 校長 前川 元

本校では、平成十九・二十年度の二年間、入間市教育委員会の委嘱を受けて、進路指導・キャリア教育の研究に取り組んできました。本年度は、昨年度に引き続き本校生徒の実態把握をし、進路指導・キャリア教育・道徳・学校行事等の系統的な年間計画をつくり、授業研究を行ってきました。



一年生では、進路アンケートや職業調べとその発表会、お茶の歴史や礼儀作法などの茶席体験、三日間の社会体験チャレンジなどに取り組み、職業に対する関心や意欲を高め、発表力、表現力を高める取り組みをしました。

二年生では、働く理由や職業と産業、上級学校調べ、挨拶や物を頼むときの頼み方、言葉かけ、断り方などのソーシャルスキルトレーニングなどに取り組み、自他の理解やコミュニケーション能力を高め、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい進路選択ができるよう関心・意欲を高める取り組みをしました。

三年生では、自分をデザインする、卒業生から学ぶ、進路決定の実際等の進路学習やきっぱり断る、上手に断る等のソーシャルスキルトレーニングなどに取り組み、コミュニケーション能力を高め、自他の理解と生きる力の実践、将来を見通した進路選択、将来の生活により良く適応し向上しようとする態度等を育てる取り組みをしました。

明星学級では、進路希望調査や施設見学、野菜の収穫等での作業規律の徹底、集団行動や持久力を高める体育、身辺処理や健康管理・係活動等、校外学習や職場体験等に取り組み、自分のことは自分でする、当てにされる存在になる、挨拶や返事ができる、働く意欲を持ち続けるなどの能力を高める取り組みをしました。



成果と課題
各学年ともコミュニケーション能力の向上に力を入れてきました。この結果、かなりの成果が見られました。それをいかに持続的に向上させていくか、今後さらに考えていきます。

全教科・領域における

コミュニケーション能力の向上

— 教科指導を中心にとば力を育てる —

野田中学校 校長 筒井 明

平成十九・二十年間に渡って、入間市教育委員会、入間市教育研究会の委嘱を受けて「全教科・領域におけるコミュニケーション能力の向上」を研究主題として研究を進めてきました。平成十九年度は、ソーシャルスキルの向上を図るために、道徳や特活の授業を研究し発表いたしました。

コミュニケーション能力とは、一般的には「他者と意思疎通を円滑にすることが出来る能力」を意味しますが、その要となるのは「聞く、話す、読む、書く」の「ことば力」であると考えました。そして以下のよう

な研究仮説を立てました。『ことば力が高まれば、コミュニケーション能力が向上し人間関係が円滑になり、様々な活動(学習・部活動等)に意欲的に取り組めるようになる。』そこで、今年度は学校の教育活動全体を通して「ことば力を育てる」取り組みを行いました。教科研究部が中心となって各教科ごとのコミュニケーション活動年間計画を立て、

スピーチ・ディベート・ペア学習・グループ学習などの学習形態を工夫した授業を実践しました。また、これまで行っていた朝読書に加え「語彙力アップタイム」を設定し、名文視写や漢字等の問題にも取り組みました。NHK研修センターから元アナウンサーを講師に招き、生徒対象にコミュニケーション能力向上の講演会を行ったり、職員の資質向上のための研修会も行いました。

二年間の研究の取り組みで学校全体のおだやかで明るい雰囲気さがさらに醸成されました。今後も引き続き研究を深め、生徒の「ことば力」を高め「コミュニケーション能力」を養っていきたく思います。



ひびけ野田囃子

西武小学校

西武小学校は入間市の北部、西武地区に位置しています。この地域には入間市無形民俗文化財の指定を受けている野田囃子が伝わっています。

我が校の音楽おはやしクラブでは、この野田囃子を取り入れています。現在部員は四〜六年生で二十三名。クラブの活動日には、野田囃子を継承している野田清和会から招いた三名の師匠の指導のもと、オオカ（大太鼓）ツケ（締め太鼓）カネ、そして舞子（踊り）に分かれ、練習しています。これらの練習の成果を白髭神社の夏、秋のお祭り、万燈まつりや公民館の文化祭などで発表しています。



また、クラブ活動以外でも、五学年の総合的な学習の時間の中でもこの野田囃子を学習しています。毎年太鼓の音が、学校の中に響いてくると、夏祭りが近づいてきたと感じます。

手揉み茶体験活動

新久小学校

校庭の前に茶畑が広がる本校では、毎年、東金子茶業会の方に来ていただき、焙煎を使った本格的な手揉み茶の体験とおいしいお茶の入れ方を教わっています。

今年も、九月九日に、九名の方においでいただき、春先から冷凍保存していただいたお茶を使って体験しました。手揉みを行う焙煎は和紙が貼り重ねられ、下からガスで熱し、その上で、お茶を乾かしながらもみまます。この作業は思ったより熱く、最初は戸惑っていた児童も慣れるに従って手つきも良くなり、熱心に取り組んでいました。また、おいしいお茶の入れ方も体験を通して学びました。出来上がったお茶は、PTAの方にご協力いただき、翌日全校で配布して全家庭で味わっていただいています。



食べ物の大切さを感じました

宮寺小学校

毎年、五年生が総合的な学習の時間で米作り体験を行っています。さいたま緑の森博物館から水田を借り、稲作りの指導を受けています。機械を一切使わず、無農薬で行います。くわを使っての田起こしから始まり、田植え、草取り、かかし作り、稲刈り、脱穀などと活動が半年に及びました。



子どもたちはほとんど未経験であり、初めは土に入ることにも抵抗がありました。夏、暑い中での草取りも頑張り、夢中で取り組みようになりました。そして、四十二キログラムを収穫することができました。子どもたちは収穫の喜びとともに、米作り農家の方々に感謝の気持ちを持つことができました。

みんなで遊ぼう！

ふじっ子まつり

藤沢小学校

子どもたちに大人気の「ふじっ子祭り」は、PTAと地域の企画で、十月十八日(土)の授業参観後に行われました。

延べ百人以上の実行委員が、一ヶ月前から何度も学校に集まり、準備をしました。今回は、経費をあまりかけないで、学校や家にあるものを使い、最大限子どもたちに喜んでもらうと計画しました。

魚釣りや輪投げのゲーム、割り箸鉄砲・スプーン人形の工作的なもの、ボール投げ・フリスローの体育的なもの等、合計十八のお店ができました。中には、幅跳びや握力等を先生方の数値と比べながら、楽しんで測定するお店もありました。

子どもたちは、家から持ってきた手提げ袋に自分の作った作品や景品をいっぱい入れ、すいているお店をねらって、楽しんでいました。ふれあいの輪が広がりました。



親子ふれあい

リサイクルプロジェクト

東町中学校

本校では、これまで環境学習の一環としてリサイクルプロジェクト(資源回収)を行ってきました。今年から、保護者の協力をいただき、地域の一人として地域のために少しでも役立ちたいと考え、新たに地域清掃の奉仕活動を加え「親子ふれあいリサイクルプロジェクト」として実施しました。

夏の暑い時で、とても大変でしたが、地域の方々に協力をいただき、たくさん資源が集まりました。また、ゴミ袋を持って歩いてみると普段は気がつかない新しい発見があり、自分の住んでいる街について知る機会にもなりました。



収益金は、社会のために何か役立てられたらと考えています。この活動をさらに充実させていきたいと思えます。



愛校心・郷土愛を育む

豊岡中学校

豊岡中学校は、開校六十周年を迎えた平成十八年に、歴代のPTAの皆様にご支援をいただき、長年の夢であった豊中万燈御輿を制作いたしました。この御輿には「御輿を担ぐ生徒の心の中に愛校心・郷土愛が生まれるように」との願いが込められています。その願いを胸に二年生が総合的な学習における地域学習のまとめとして、万燈まつりに参加しています。

三年目を迎えた今年、生徒の表情から「自分達の出番だ！やるぞ！」という意気込みが強く感じられるようになりました。生徒の感想に「御輿は重かったけれど、楽しかった」「いい経験ができた」等前向きな感想が多く寄せられました。今後も良き伝統として御輿の取り組みを発展させ、二十一世紀をたくましく生きる生徒の育成に努めて参ります。



おいしく食べて 楽しく学ぶ 元気な入間っ子

楽しく学ぶ 食育の推進

食育は、すべての教科をとおして行い、食に関する知識や技能を学んでいます。

とうもろこし・いんげんの皮むき、お茶を生かしたおやつ作りなどの体験的な活動も取り入れ、食への興味や関心を高められるよう、各校で工夫して取り組んでいます。



おいしく食べて健康づくり！ 給食指導

給食を「生きた教材」として、指導にあたっています。

メニューや食材への関心を高め、食事の仕方、給食当番などの役割分担、食事のマナーなどを給食をとおして学びます。生産者や調理員の方々への感謝の心を育てることも大切です。



安全・安心 地域との連携



近隣の田畑を借用して、農業体験を進めている学校もあります。ジャガイモやさつまいも、トマトやきゅうりなどの野菜、米、味噌作りに取り組んでいる学校もあります。

地域の農家の方には、入間で採れた新鮮な野菜の提供にご協力いただいています。

朝食は毎日食べてるの？・・・小6、中3とも、過去2年間、全国平均を上回っています！！

	年度	入間市(%)	埼玉県(%)	全国(%)	全国比
小 6	20	96.5	96.4	95.4	+1.1
	19	96.0	96.1	95.2	+0.8
中 3	20	92.1	91.9	91.9	+0.2
	19	91.8	91.9	91.6	+0.2

子どもたちの元気のもと、食事と愛情、運動。特に「食事」はすべてのみなもとです。

教育ニュース

入間ケーブルテレビがやってきた

「元気な いるまっ子」放映中



本市教育委員会学校教育の重点である「地域に根ざした特色ある教育活動」を進めて、市内小中学校の教育活動を広く市民の方々に伝えるため、平成二十年十月から入間ケーブルテレビと連携して「元気な いるまっ子」を放映しています。

子どもたちの元気な様子、一生懸命な様子が好感を生み、放送を楽しみにしている人も増えてきています。

「元気な いるまっ子」の放映について

放映日：毎週土・日曜日 9時45分～17時15分

放映内容：1ヶ月に2校の教育活動を紹介しています

過去の放映校

○プレ放送

平成20年7月…東町中学校「リサイクルプロジェクト」

8月…野田中学校「デイサービスセンター・

ボランティア体験」

○本放送

10月…新久小学校「手揉み茶体験」 西武小学校「お囃子クラブ」

11月…宮寺小学校「宮寺稲物語」 藤沢小学校「ふじっ子まつり」

12月…藤沢東小学校「不老川の探検・調査」 黒須小学校「黒須小まつり」

平成21年1月…仏子小学校「狭山茶体験学習」 扇小学校「心や体の健康学習」

2月…金子中学校「手揉み茶体験」 藤沢南小学校「食育について」



現在、さらに事業を充実させるため、入間ケーブルテレビの協力により、各学校で放送の受信ができるようになりました。

また、設置されたケーブルを利用して、放送予定等を学校に知らせています。そして、各家庭には毎月、入間ケーブルテレビからの広報誌が配布されています。先日、この協力に対して、村野教育長より感謝状が荻野社長に手渡されました。

グッドにゆうす

教育広報が取り持つ縁

茶畑の四季

金子中学校二年
北風 千綯

春の茶畑
新芽の新鮮な緑色が
一面に広がる

夏の茶畑
緑が一層青々として
空の色がより緑を
引き立たせる

秋の茶畑
純白の小さな花が咲き
もうすぐ冬が来ることを
知らせる

冬の茶畑
花が散り
冷たい風が通り抜ける

春夏秋冬
表情を変えていく
私の好きな茶畑の風景

教育広報第四十七号の表紙で紹介された金子中学校、北風千綯さんの「茶畑の四季」の詩に感銘を受け、市内在住の作曲家長岡洋子さんが曲をつけてくれました。

六月十二日、青少年活動センターにて、東町小児童の通学合宿の場を借りて、東町公民館で練習されている合唱サークル「どれっsing」のみなさんが曲を発表してくれました。



合唱サークル「どれっsing」のみなさんによる合唱の様子



中央が作詞の北風千綯さん
右が作曲された長岡洋子さん

☆ 関東信越国税局長賞（優秀）

【税金を 納める父へ 金メダル】

西武中学校 二年 鶴田 颯河君

入間市租税教育推進協議会で、所沢税務署との共催により、税に関する作文と標語を募集しました。中学生から、作文五六四点、標語一四二八点の応募がありました。その標語の部で、西武中学校二年生の鶴田颯河（そうが）君の作品が「局長賞 優秀」作品に選ばれました。

鶴田君は、意欲的に作文や標語の応募に取り組んできましたが、今回のような大きな賞を受賞したのは初めてだそうです。

鶴田君の受賞の感想を、次に紹介

「今でもうれしくてうれしくて仕方ありません。選ばれたからには、税に対する関心を高めていきたいと思えます。」

美術展県知事賞 連続受賞

西武中学校 三年

中田 詩織さん

中田さんは「郷土を描く美術展」で、二年連続「県知事賞」を受賞。それ以外にも「身障者展」特別賞受賞、県美術展三年連続金賞という素晴らしい実績を残しました。

また、美術部の部長としても、作品に取り組む姿勢、作品の表現力等、他の生徒の模範でもありました。次に、県知事賞を受賞した「校舎」の作品の感想を紹介しましょう。

「とても光栄に思っています。夏の暑い日に時間をかけて仕上げた作品で、中学校生活の思い出の中でも印象の強いものとなっています。」

編集後記

今回の広報では、各学校の一年間の取り組みの成果をまとめて紹介させていただきました。

原稿作成、写真の提供等、ご協力ありがとうございました。